

農業総合研究センター かわら版

第47号 平成21年1月6日 発行

山形県農業総合研究センター 研究企画部
〒990-2372 山形市みのりが丘6060-27
電話：023-647-3510

研究企画部では、編集に関する皆様からの
ご意見ご要望をお待ちしております。

挨拶 ～ 山形県農業総合研究センター所長 駒林 和夫

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、農業総合研究センターかわら版に対し、御支援や多くの御助言をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は原油や穀物価格の高騰、食の安全に関する問題など、農業情勢は大きく変化しました。当研究センターにおいては、このような状況の変化を念頭におき、職員が一丸となって研究開発に当たるとともに、研究成果の普及・実用化や地域貢献の推進に努めて参りたいと考えております。今年も変わらぬ御支援、御鞭撻のほどお願い申し上げます。

「果樹関係成績検討会」と「山形97号関係成績検討会」を開催しました (研究企画部)

平成20年12月に今年度の試験研究の成績についてその内容及び技術の普及性について検討する試験研究成績検討会を2回開催しました。果樹関係研究成績検討会は12月10日～11日、最上産地研究室を会場に行い、おうとうの育種試験など主に国庫予算で試験している課題について検討しました。また、山形97号関係成績検討会は12月24日に農業総合研究センターを会場に行い、山形97号の栽培マニュアルの策定に向けた試験研究成果などについて検討しました。

“新しい技術の試験研究成果”については今後、検討会で出された意見等をふまえて精査し、「やまがたアグリネット」に掲載する予定です。



水稻新品種「山形97号」の仮栽培マニュアルの作成早く! (農業生産技術試験場庄内支場)

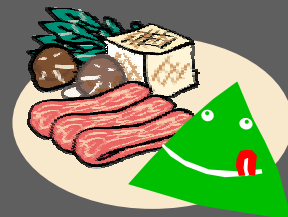
水稻新品種「山形97号」の名称の県民投票が12月19日から始まり、平成22年度の本格栽培に向けて期待が高まっています。

「山形97号」のブランド化戦略を計画的に進めるには、現場での高品質な生産が基本となります。このため、生産現場で利用する(仮)栽培マニュアルを12月中に作成する計画としておりました。そのため、例年より1ヵ月程度早く試験成績を取りまとめる必要があります。10月中旬から12月上旬にかけて庄内総合支庁(農業振興課、農業技術普及課、酒田農業技術普及課)と最上総合支庁(農業技術普及課)より調査を支援していただき、(仮)栽培マニュアルを作成することができました。今後、戦略部会や関係機関からの指摘や助言をいただき、仮栽培マニュアルを完成し、今年の先行栽培に活用する計画です。



山形新品種教室

～ 農業総合研究センター研究企画部



7 時間目 種雄牛「平忠勝」

背景

～ 山形生まれのスーパー種雄牛～

山形県は、高品質で美味しい牛肉の生産地として定着しており、全国ブランド「山形牛」の銘柄で販売されている。

しかしながら、山形県内では繁殖牛頭数が少なく、肥育農家が年間必要とする子牛の約 2 割しか県内自給が出来ず、子牛の生産頭数と肥育頭数のバランスが取れていなかった。

よって、山形県では「やまがたの和牛増頭戦略協議会」を設立し、繁殖牛を中心とした和牛の増頭事業を展開し、山形生まれ・山形育ちの「山形牛」の生産拡大が望まれていた。



父親 「平茂勝(鹿児島)」 ×

母親 「第2まさこ(山形)」

ひらただから
平忠勝



凍結精液は家畜改良事業団を経由して、県外にも販売している

平忠勝のプロフィール

生年月日：平成 14 年 11 月 16 日

産地：山形県最上郡金山町

特徴：枝肉重量、脂肪交雑（サシ）の向上が期待でき、質・量兼備である。



「平忠勝」検定材料牛枝肉状況

現場後代検定成績において、BMS（脂肪交雑基準）は、全国歴代検定成績の第一位（7.6）、枝肉重量（483kg）は第三位の成績

～ 種雄牛の造成について～

県全体で、種雄牛の造成方針を定める

脂肪交雑や枝肉重量などの推定育種価が県内トップクラスの雌牛を基礎雌牛と認定する

計画交配による雄子牛の生産

本牛の直接検定を行う

県内の肥育農家に協力してもらい、現場後代検定を実施

種雄牛の造成